

令和 6 年度事業報告書
(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日)

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構
JRECO 情報処理センター

法第 7 9 条第 2 項に基づき、令和 6 年度の JRECO 情報処理センターの事業報告をする。

(1) 情報処理業務の実施に関する事項

① 情報処理業務の内容

令和 6 年度の年間登録件数と令和 7 年 3 月 3 1 日現在の情報処理センターへの管理者・廃棄者、充填回収業者の登録事業所数、機器管理番号（点検整備記録簿）発行数は次のとおりである。

- ・ 登録件数（処理件数） 2, 6 8 0 件

令和 6 年度の登録件数は、前年度より多い 2, 6 8 0 件（対前年度比 4 7 9 件増）となったが、計画数値（3, 5 0 0 件）には達しなかった。利用時期は年間を通して利用されているが、梅雨の時季を除く春から夏にかけて特に多くなっている。

（添付資料 A）情報処理センター外の登録件数は、定期点検が 2 6, 1 1 0 件（前年度比約 1 8 % 増）、簡易点検が 5 0 2, 0 7 3 件（同約 3 3 % 増）、また機器廃棄時の行程管理票が 1 1, 6 3 0 件（同約 1 1 % 増）と、いずれも前年度より増加している。これはメール配信等による広報や説明会の開催等の普及活動に力を入れてきたことが奏功したものと考えられる。

- ・ 登録事業所数

管理者・廃棄者 2 3, 4 5 7

充填回収業者 2, 7 2 6

（なお、充填回収業者の場合、1 事業所で複数の都道府県を登録している都道府県をそれぞれ個別に累計した場合は 7, 6 4 6）

- ・ 機器管理番号（点検整備記録簿）発行数 3 0 5, 9 0 4

（参考：令和 6 年 3 月 3 1 日現在は 2 7 6, 8 3 8）

② 情報処理業務に関連する問い合わせ対応や事務処理について、適正に処理できる体制の構築と、効率的な実施

人員体制は、令和 6 年度事業計画の業務を遂行するために情報システム部 3 名体制としてシステムの適正な運用に当たり適切に対応した。また、一日平均 1 0 件ほどある電話やメールによる問い合わせ対応や情報処理センターの普及啓発活動について、企画・

調査部とも連携を図り効率的に実施した。このように日々蓄積したノウハウを活かしてマニュアルや操作説明動画等の作成、見直しを適宜行い当機構のホームページに公開し、ダウンロードできるようにして利用者の便を図ってきた。

経理に関しては、預け金（ポイント）方式では情報処理センター利用のために預託された預かり金と情報処理センターの利用時に利用料金として当機構が収受した金銭、また、請求書による銀行振込（後払い）方式では情報処理センター利用に応じて発行する請求書に関する金銭徴収について、インボイス制度や電子帳簿保存法を遵守した形で、収支計画書に基づき適切に管理した。なお、令和6年度情報処理センター単体の決算で一般正味財産は増額し期末残高は黒字となった。

（２）情報処理業務に用いる設備の維持及び更新の見通し

① 機器更新や拡充等各種の機能改善の適切な実施

情報処理業務を実施するために必要な電子計算機その他の機器について、情報処理業務は事業計画内で推移したので、データ処理及びデータ容量には十分な余裕があり、機器の更新や拡充は行わなかった。現在のデータ容量の使用領域は46GB（OSなどを含む全使用容量）であり、自動拡張可能なストレージ容量64TBの0.072%である。

また、各種の機能改善については情報処理センターの利用者の利便性の向上や効率性を高めるため、次のようなシステム仕様の変更や追加を随時行い、継続的に改善を図り適切に実施した。

- ・ RaMS 利用規約の改定（秘密保持、反社会勢力の排除の項を追加等）
- ・ 副ユーザー、準ユーザー機能（権限等）の修正
- ・ ログブックの自動更新機能を追加
- ・ EEGS に対応した算定漏えい量報告書出力画面等の修正
- ・ プログラミング言語のマイナーバージョンアップ、クラウド用リレーショナルデータベースのインプレースアップグレード

② システムの安定運用のための保守管理の実施

情報処理業務を実施するシステムは、安定した運用を図るために高いセキュリティで保護されたデータセンター内に構築し、外部からのアクセスは暗号化された通信手段やファイアーウォールによる接続制限を設けている。

また、システム開発や維持管理業務は、外部委託による運用管理会社（専門業者）と連携し実施しており、開発内容や仕様変更など、不定期ではあるが2～3週に一度程度の情報交換を行っている。

具体的な取組としては、情報セキュリティの観点から、JRECO からのサーバーへの直接アクセスも行えない仕組み（アクセスは Web 経由のみ）となっており、万一 JRECO 内の情報機器に不正アクセスやウィルス感染が発生した場合でも、情報処理センターのシステムは隔離された環境としている。さらに、不具合発生時の対応やサーバーの CPU

使用率によりシステム運用状況の監視も行った。

このように、システムの安定した運用については、令和6年度中は支障なく維持されてきた。

(3) その他必要な事項に関する事項

令和6年度は情報処理センターの認知度を上げ、利用の普及・促進を図るため下記の活動を行った。

- ・ 情報処理センターの利用に関する Web 説明会を計7回開催（参加者数460名）、他にも利用者の要請による個別 Web 説明会を開催（添付資料B）
- ・ フロン対策格付け表彰式・情報交流会を開催（添付資料C）
- ・ フロン排出抑制法及び情報処理センターに関する専用ポータルサイトの内容を拡充、動画配信サービスや SNS 媒体を利用した周知、広報活動の実施
- ・ 分かり易い提案説明書を作成し、製造業者、スーパー等小売業者、食品加工業者、ビル管理会社、大学、病院をはじめとする潜在利用者100社以上に個別に接触し紹介や説明を実施、また、関連団体及びその傘下の企業へ電話、メール等による周知、広報活動を実施（添付資料D）
- ・ 地方自治体の要請に応じて、法令及び情報処理センターの利用に関する講習会・説明会に講師を派遣及び資料を配布
- ・ 大手上場企業等に SDGs（持続可能な開発目標）としてフロン類管理を CSR（ESG）報告書に記載することを啓発、また、法令遵守に関して CSR・環境関係の情報提供機関、弁護士事務所と連携して周知活動を実施
- ・ 情報処理センター利用者へ情報メールの発信、情報提供サービスの強化（添付資料E）
- ・ ホームページで利用者の法人名、ロゴマークの公開、事例等を紹介（添付資料F）
- ・ 業界紙、関係団体（日設連・東冷協）会報に広告、記事を掲載（添付資料G）
- ・ 国や地方自治体へ検討資料として、秘匿性を確保した形（統計データ）で RaMS データを提供

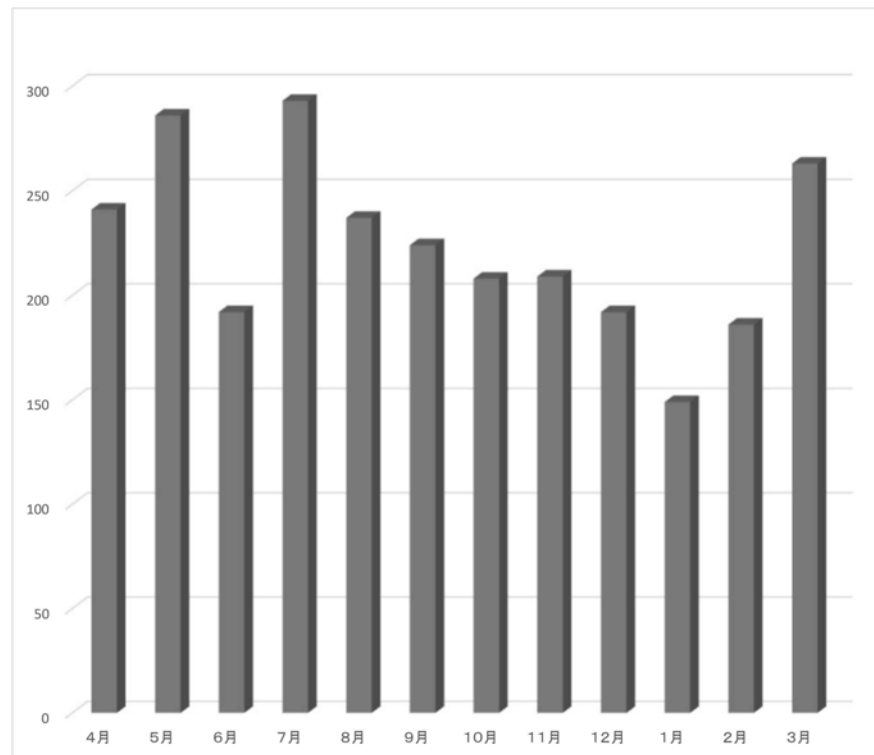
[添付資料]

- A. 情報処理センター利用実績
- B. 令和6年度説明会
- C. フロン対策格付け表彰式・情報交流会
- D. サステイナブルキャンパス賞 2024 奨励賞
- E. 情報メール（T i p s）
- F. 利用法人名・ロゴマーク掲載
- G. 新聞広告（空調タイムス）、雑誌広告（冷凍空調設備、東冷協だより）

情報処理センター令和6年度利用実績

令和6年度情報処理センター登録件数(充填・回収)R6実績

4月	241
5月	286
6月	192
7月	293
8月	237
9月	224
10月	208
11月	209
12月	192
1月	149
2月	186
3月	263
計	2,680



令和6年度 RaMS(冷媒管理システム)説明会

	開催場所(都市名)	開催日	申込者数	定員数	受講者数計
1	東京都(Web生配信)	2024/4/16	91	100	61
2	東京都(Web生配信)	2024/6/12	51	100	41
3	東京都(来場型)	2024/7/10	31	100	29
4	東京都(Web生配信)	2024/9/3	49	100	42
5	東京都(Web生配信)	2024/10/24	45	100	40
6	東京都(来場型)	2025/1/27	84	100	78
	東京都(1/27の録画Web配信)	2025/2/3～20	105	100	105
7	東京都(Web生配信)	2025/3/12	83	100	64

460

フロン対策格付け表彰式・情報交流会〔2024年6月17日開催〕

関連資料：第3回 JRECO フロン対策格付け「フロン排出抑制法」遵守状況－第3回格付け調査
<https://jreco-rams.jp/2023ranking/index.html>

フロン対策格付け表彰式・情報交流会を開催

【概要】

JRECO は、2024 年 6 月 17 日に東京都港区の機械振興会館で「フロン対策格付け表彰式・情報交流会」を開催しました。

本イベントは、JRECO が実施している『フロン対策格付け』において A ランク評価を受けた企業様に表彰状を授与する式典を行い、情報交流の場を設けることで、フロン類機器管理の適正化に向けた取り組みをさらに推進することを目的としています。

当日は、環境省・経済産業省や東京都など関係機関からご来賓をお迎えし、22 社の皆様がフロン格付け A ランク表彰を受けました。

表彰式に続いて行われた情報交流会では、参加者同士が活発な意見交換を行い、フロン排出抑制に向けた更なる連携強化に繋がる貴重な機会となりました。



JRECO は、今後もフロン排出抑制に向けた取り組みを積極的に推進し、地球温暖化対策に貢献してまいります。

【フロン対策格付けについて】

フロン対策格付けは、プライム上場企業（1653 社）の統合報告書や CSR レポートなどの公表資料により、フロン排出抑制法・算定漏洩量・簡易点検・定期点検などの記載の有無を確認し、JRECO 独自の視点と基準で事業者ごとの取り組みや対策の状況を格付けし、当機構のホームページ等で公表することで、フロン類機器管理の適正化を図ることを目的とした制度です。

この取り組みは、2021 年度以降 3 年間にわたり実施してきており、格付けは、A～E の 5 段階で評価され、最高位の A ランクはフロン排出量・排出抑制対策の状況が特に優良な事業者に与えられます。1 回目は 16 社、2 回目は 49 社、3 回目は 76 社と A ランク企業が増えてきており、今回のその荣誉に輝いた企業様に当機構から表彰をさせていただくことし、全国から 22 社をお迎えしました。

（JRECO ホームページ https://www.jreco.or.jp/data/info_20240628.pdf）

【最新調査：2025 年 2 月 12 日発表】第 4 回 JRECO フロン対策格付け「フロン排出抑制法」遵守状況－第 4 回格付け調査
https://www.jreco.or.jp/data/2024_Kakuduke_Ranking_0206.pdf

サステイナブルキャンパス賞 2024 民間事業者部門 奨励賞

**CAS-
Net
JAPAN**
Campus Sustainability Network in JAPAN
サステイナブルキャンパス推進協議会

Sustainable Campus Award 2024

サステイナブルキャンパス賞2024
民間事業者部門 奨励賞

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 (JRECO) 殿

下記の取組は、サステイナブルキャンパス実現に向けた大変
優れた取組として認められるので、これを賞します。

フロン排出抑制法遵守と冷媒のデータ解析・棚卸事例の紹介

2024 年 11 月 16 日

一般社団法人サステイナブルキャンパス推進協議会
代表理事 朴 恵淑

情報処理センター利用者へ情報メール(Tips)発信 (毎週1回)

(2024年7月22日号)

件名:

<RaMS お役立ち情報 - 7月22日>

そろそろ我が社も DX! 紙から電子に変えてみよう! 伝票処理を電子化・効率化

本文:

いつも RaMS をご利用いただき有難うございます。

RaMS の操作、ご活用に役立てて頂ける情報・ヒントにつきましてご案内させていただきます。

充填回収業者の皆様にとってメリットとなる RaMS の様々な機能を中心に

日設連の会報誌に毎月連載してご好評をいただいた資料をまとめて公開

しております。(2022年5月号~2023年3月号掲載)

以下リンクから是非ご一読し今後の RaMS 活用にお役立て下さい。

※掲載先リンク:

https://www.jreco.jp/public/assets/file/bulletin_202303.pdf

以上

一般財団法人日本冷媒・環境保全機構

参与

作井 正人

TEL:03-5733-5311

お問い合わせ E-mail: contact@jreco.or.jp

【その他、2024年のTips発信例】

- 7/8 「統括組織一覧の表示と
全社算定漏えい量の見える化」
- 9/17 「EEGS 報告書作成支援ツールとの
連携について」
- 10/28 「充填回収業者による
設置時追加充填量登録」
- 11/26 「設置時追加充填量は登録済みですか？」

etc.

【充填回収業者様向け資料】

冷媒管理システム RaMS
(Refrigerant Management System)
情報処理センター (*フロン排出抑制法第76条による)

そろそろ我が社も DX!
紙から電子に変えてみよう!
伝票処理を電子化・効率化



JRECO 一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構

利用法人名・ロゴマーク掲載 (https://www.jreco.or.jp/rams_jirei.html)



〒105-0011
東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館 406-2
TEL: 03-5733-5311 FAX: 03-5733-5312

団体概要

事業内容

会員

情報セキュリティポリシー

アクセスマップ

English

RaMS導入事例とご利用企業・法人例（五十音順・敬称略）

掲載に了解頂いた企業・法人様

AsahiKASEI

AEON

idemitsu

ツルガハマランド株式会社
くだまつ健康パーク

Denka



学校法人 東海大学

ANA

株式会社 ENEOS マテリアル

株式会社 大塚商会

東京都

TOPPAN

TOYO COLOR

CASIO

KMU
学校法人 金沢医科大学

KYODO YUSHI

日本触媒

Orchestrating a brighter world
NECHITACHI
Inspire the Next

KUREHA

CRODA

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

FUJITSU

brother
at your sideLUCKY
北越ラッキー株式会社工学院大学
KOGAKUIN UNIVERSITY

JFE スチール 株式会社

静岡市
静岡市中央卸売市場BEST
北陸電力
ビズ・エナジーソリューション株式会社MAYEKAWA
株式会社前川製作所MITSUBISHI
CHEMICAL
GROUP
三菱ケミカル株式会社

SEKISUI HOUSE

SoftBank

大王製紙株式会社
elleair
エリエールMITSUBISHI
ELECTRIC

三菱マテリアル

UBE

DAIHATSU

Takeda
武田薬品工業株式会社CHIBA
UNIVERSITY生きる力を応援します
LivedoYKK
AP

RaMS導入事例

・株式会社 クレハ

・清水化学工業株式会社

・清水ハウス株式会社

・デンカ株式会社

・三菱マテリアル株式会社 若松製作所

・北越ラッキー株式会社

・学校法人 慶應義塾

・北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社

・旭化成株式会社 水島製造所

・イオンディライト株式会社

・UBE株式会社 宇都ケミカル工場

RaMSご利用されている企業・法人例（名称掲載を了解頂いたもの）

旭化成株式会社 水島製造所・鈴鹿製造所・川崎製造所

イオングループ（23社）

ANAホールディングス株式会社

株式会社 大塚商会

学校法人 金沢医科大学

株式会社 クレハ

学校法人 慶應義塾

学校法人 工学院大学

JFEスチール株式会社 東日本製鉄所（京浜地区）

静岡市中央卸売市場

西武鉄道株式会社

清水ハウス株式会社

大王製紙株式会社 可児工場・三島工場

出光興産株式会社 千葉事業所

株式会社 ENEOS マテリアル

カシオ計算機株式会社

協同油脂株式会社

クロージャパン

経済産業省

シャープ株式会社

積水化学工業株式会社

ソフトバンク株式会社

ダイハツ工業株式会社

滋賀（竜王）工場

武田薬品工業株式会社

ツルガハマランド株式会社 くだまつ健康パーク

デンカ株式会社

東京都

トヨーカラー株式会社

日本電気株式会社

富士通株式会社

北越ラッキー株式会社

北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社

株式会社前川製作所

三菱電機株式会社

UBE株式会社 宇都ケミカル工場

株式会社リブドゥコーポレーション

国立大学法人 千葉大学

学校法人 東海大学

凸版印刷株式会社

株式会社 日本触媒

株式会社 日立製作所

ブラザー工業株式会社

三菱ケミカル株式会社

三菱マテリアル株式会社 若松製作所

雪印メグミルク株式会社 野田工場

YKK AP株式会社

強化続く社会的信用・信頼度を背景に

空調タイムス

第II部 冷媒・フロン編

地方自治体領域での普及にも期待高まる

JRECO クラウド型冷媒管理システム RaMS



高橋 孝吉 代表取締役

「フロン排出抑制法」による「唯一の情報処理センター」として国に認められている一般財団法人日本冷媒・環境保全機構（通称＝JRECO）が運営するクラウド型冷媒管理システム「RaMS」の点検記録簿は室外機1台につき、税別500円で登録が可能。次年度以降、更新料税別100円で利用できる。また、専門業者による点検時のデータ入力費用は1件あたり税別100円、「行程管理票」の起票も1セットあたり税別100円となっている。現在、フロン法対応の他のクラウド型冷媒管理システムには「基本機能利用」のみで無料というものもある。利用に費用がかかる分「RaMS」は不利となるが「フロン法」によって認められた唯一の情報処理センターであるJRECOの基幹システムである「RaMS」には、厳しい情報セキュリティが法的に課されており、安全性という意味で他の追随を許さない。圧倒的な安全性の高さが評価されていることは、旭化成、UBE、シャープ、ソノババンク、三菱ケミカル、武田薬品工業、東海大学、イオングループ、カシオ計算機、西武鉄道、日立製作所など企業ユーザーの顔ぶれをみても明らかだが、昨年度からは東京府でもユーザーに加わった（編集部註＝ユーザー名公開した企業の「団体名リスト」から一部を抜粋）。「RaMS」についてJRECOは、2020年の法改正以降も告示の改正などに呼応する形で改修を重ねている。一つは2022年8月の、いわゆる「常時監視」の導入である。これは「管理者の判断基準」の変更に伴うものだが、「RaMS」では簡易点検の記録方式の中で「常時監視」を採用した場合の利用も可能となっている。更に2023年4月のGWPに関する告示の変更等にもいち早く対応し、令和6年度における報告などもスムーズに対応できるよう「RaMS」利用者の利便性向上を図っている。

「フロン対策格付け2023」表彰式

「RaMS」をより多く活用するため、JRECOは「フロン対策格付け2023」において、全国で最も活用率が高かった企業として表彰された。これは、JRECOが運営するクラウド型冷媒管理システム「RaMS」の活用率が高かったことが評価された。JRECOは、この表彰を受けて、今後も「RaMS」の活用を促進し、社会的信用・信頼度をさらに高めることを目指している。

「RaMS」は、JRECOが運営するクラウド型冷媒管理システム。このシステムは、冷媒の管理を効率的に行うためのツールであり、企業の社会的責任を果たすための重要な役割を果たしている。JRECOは、このシステムを通じて、冷媒の管理をより安全かつ効率的に行うことを目指している。

「RaMS」は、JRECOが運営するクラウド型冷媒管理システム。このシステムは、冷媒の管理を効率的に行うためのツールであり、企業の社会的責任を果たすための重要な役割を果たしている。JRECOは、このシステムを通じて、冷媒の管理をより安全かつ効率的に行うことを目指している。

2023年度の格付け「Aランク」一覧

企業名	格付け
旭化成	A
UBE	A
シャープ	A
ソノババンク	A
三菱ケミカル	A
武田薬品工業	A
東海大学	A
イオングループ	A
カシオ計算機	A
西武鉄道	A
日立製作所	A
東京府	A
旭化成	A
UBE	A
シャープ	A
ソノババンク	A
三菱ケミカル	A
武田薬品工業	A
東海大学	A
イオングループ	A
カシオ計算機	A
西武鉄道	A
日立製作所	A



HVAC&R JAPAN2024のJRECOブース

令和2年4月に改正フロン排出抑制法が施行されました。
RaMS利用で

企業価値UP!

- ① 今回の法改正では、フロンを含む機器を廃棄する際の規制が一段と厳しくなっています。
- ② 書面の管理・保存が厳しく求められ、間接罰から直接罰化がなされています。
- ③ RaMSはフロン機器の管理支援ツールとして法改正にも対応し、ペーパーレス化や事務作業の省力化に貢献します。

（財）日本冷媒・環境保全機構はRaMSを運営提供するとともに、「フロン排出抑制法」(第76-85条)に基づき、
経済産業省・環境省から「情報処理センター」として指定されています。

RaMSとは

クラウド上に構築された利用者のデータセンターであり、データ解析機能の高度な「プライベートクラウドシステム」です。安心のセキュリティ対策、第三者が覗くRaMSデータは閲覧することはできません。

SaaS
(Software as a Service)

RaMS
Refrigerant Management System

事前確認書類の交付・保存
取扱説明書の交付・保存

令和2年改正法にも準拠した書類を発行！
取扱説明書の交付・保存（印刷・電子）
（令和2年4月1日より）

【事前確認書類の交付】
・事前確認書類（印刷・電子）
・事前確認書類（印刷・電子）
（令和2年4月1日より）

【取扱説明書の交付】
・取扱説明書（印刷・電子）
・取扱説明書（印刷・電子）
（令和2年4月1日より）

RaMS利用で
ばっちり管理。
地球温暖化の抑制と
社会貢献！

RaMSは2011年よりフロン法の変遷に電子的に対応し
2020年の改正法にも完全に準拠します！

RaMS (冷媒管理システム) についてのお問い合わせは

一般財団法人 **日本冷媒・環境保全機構**
JRECO Japan Refrigerants and Environment Conservation Organization

電話 (03) 5733-5311 月～金曜日(祝・祭日除く) 9:00～17:00
URL <http://www.jreco.or.jp>

令和6年11月15日発行(毎月1回15日発行)第51巻 第11号 通巻589号 昭和50年7月4日第3種郵便物認可 ISSN 0285-6062

冷凍空調設備

REFRIGERATION & AIR-CONDITIONING CONTRACTORS

11

Vol.51 No.11
2024 November

全国事務局会議開催される
令和5年度冷凍空気調和機器施工
試験問題解答解説 2級
優良省エネルギー設備顕彰事例募集

島根県庁(島根県)

JARAC

一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会

ラムズ RaMS利用で 企業価値UP!



**RaMSで冷媒管理！
書類保存が確実！
クラウド管理なので安心です！**

(一財)日本冷媒・環境保全機構はRaMSを運営提供するとともに、「フロン排出抑制法」(第76-85条)に基づき、経済産業省・環境省から「情報処理センター」として指定されています

**「フロン排出抑制法」に準拠した冷媒管理で地球
環境の改善に貢献する環境先進企業へ**

デジタル化推進

デジタル化により、紙媒体をなくし、機密情報も安全に保管することが求められています。またドキュメントの電子化で、業務効率化やコスト削減ができます

地球温暖化防止

フロン類は、地球温暖化をもたらす温室効果ガスの中で二酸化炭素(CO₂)に比べ最大1万5千倍も影響があり、適正管理が必要となります

ISO14001 対応

ISO14001活動を行う中で「環境側面」として「フロン排出抑制法」対応にRaMSを利用することで効率的な管理が可能になり、審査時のエビデンスとなります

CSR 推進支援

CSRLレポート・環境報告書は、法令順守、自主活動を通じ、企業の社会的責任の遂行状況を対外的に開示するものとして作成、発行が求められています

●JRECO 冷媒管理システム RaMS (ラムズ) のお問合せ先



一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 企画・調査部
電話：03-5733-5311 E-mail: contact@jreco.or.jp
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 406-2

TRK

令和6年7月1日発行

一般社団法人 東京都冷凍空調設備協会

東冷協だより

2024. **7・8**
No.444

● 目 次

・ 会長就任あいさつ..... 1	・ 東冷協日誌.....39
・ 東冷協 役員名簿第7期... 2	・ 行事予定.....39
・ 第7期役員紹介..... 3	・ 豆知識.....41
・ お知らせ..... 4	・ こころのコラム.....43
・ 技術レポート.....24	・ 新聞記事情報.....45
・ サロン.....26	・ 会員動向.....46
・ 行事報告.....27	・ 我社の自慢.....47
・ 業界トピックス.....36	・ ひとこと.....48
・ 委員会報告.....36	・ 名刺広告.....49



ラムズ RaMS利用で 企業価値UP!



**RaMSで冷媒管理！
書類保存が確実！
クラウド管理なので安心です！**

(一財)日本冷媒・環境保全機構は RaMS を運営提供するとともに、
「フロン排出抑制法」(第76-85条)に基づき、経済産業省・環境省から
「情報処理センター」として指定されています

**「フロン排出抑制法」に準拠した冷媒管理で地球
環境の改善に貢献する環境先進企業へ**

デジタル化推進

デジタル化により、紙媒体をなくし、機密情報も安全に保管することが求められています。またドキュメントの電子化で、業務効率化やコスト削減ができます

地球温暖化防止

フロン類は、地球温暖化をもたらす温室効果ガスの中で二酸化炭素(CO₂)に比べ最大1万5千倍も影響があり、適正管理が必要となります

ISO14001 対応

ISO14001活動を行う中で「環境側面」として「フロン排出抑制法」対応にRaMSを利用することで効率的な管理が可能になり、審査時のエビデンスとなります

CSR 推進支援

CSRレポート・環境報告書は、法令順守、自主活動を通じ、企業の社会的責任の遂行状況を対外的に開示するものとして作成、発行が求められています

●JRECO 冷媒管理システム RaMS (ラムズ) のお問合せ先



一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 企画・調査部
電話：03-5733-5311 E-mail: contact@jreco.or.jp
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 406-2

収支決算書(令和6年度決算)

(情報処理センター)

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月 31日

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構

東京都港区芝公園 3-5-8
機械振興会館 406-2

貸借対照表

令和7年3月31日

情報処理センター(指定法人)

その他会計

(単位：円)

科 目	令和6年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
仮勘定	307,529
流動資産合計	307,529
2. 固定資産	
ソフトウェア	0
固定資産合計	0
資産合計	307,529
II 負債の部	
1. 流動負債	
仮勘定	280,126
	0
流動負債合計	280,126
負債合計	280,126
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	0
2. 一般正味財産	27,403
正味財産合計	27,403
負債及び正味財産合計	307,529

正味財産増減計算書

令和6年 4月 1日から令和7年 3月31日まで

情報処理センター(指定法人)

その他会計

(単位：円)

科 目	令和6年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
事業収益	294,800
受取補助金	0
雑収益	12,729
経常収益計	307,529
(2) 経常費用	
事業費	
人件費	42,574
会議・研修費	140
旅費交通費	663
通信運搬費	1,933
減価償却費	75,026
消耗品費	19
印刷製本費	22,797
広告宣伝費	4,223
銀行手数料	593
手数料その他	262
租税公課その他	1,071
外注費	0
調査費	0
自己負担金	0
委託費(システム保守費等)	48,066
コンサルタント料	26,048
管理費	17,340
経常費用計	240,755
評価損益等調整前当期経常増減額	66,774
評価損益等計	0
当期経常増減額	66,774
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
税引前一般正味財産増減額	66,774
法人税・住民税及び事業税	0
当期一般正味財産増減額	66,774
一般正味財産期首残高	▲ 39,371
一般正味財産期末残高	27,403
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
III 正味財産期末残高	27,403